



世界の学校77 ソウルでの幸せな日々 小林実季 (ソウル日本人学校) … 2
講習・講座参加者の声 … 3 災害見舞金事業ご案内 … 3
再任用教職員の会費改正について … 4
信州“教育の日”報告 … 5
リレー通信 わたし自慢④ 梅干 山口 学 (南木曾中学校) … 5
100年館の絵 丸山美加子 (延徳小学校) … 6
会員ひろば 白澤美穂 (戸隠中学校) … 6

給食で食べた「ソルガム」に興味をもち、地元の方に教えていただきながら3、4年生で「ソルガム」を栽培しました。秋晴れの空のもと、収穫することができました。(豊丘小学校)

1月の研修ガイド

- 12日 (木) ●教育研究発表会** ◎東筑摩塩尻教育会館講堂 ◇信濃教育会教育実践賞準特選 木曾植川小「ならにこ漆器会社」の発表、各種研究委員会、教科等研究会の本年度活動状況、成果および課題等の発表 ☆東筑摩塩尻教育会 0263-32-1187
- 20日 (金) ●第28回授業研修会** ◎上伊那教育会館 ◇松木健一 (福井大学副学長)、北原和俊 (元上伊那教育会長・元伊那小学校長)、発表者：中村沙弥香会員・授業研修委員会 ☆上伊那教育会 0265-72-3416
- 27日 (金)～2日7日 (火) ※オンデマンド配信**
●郷土調査部研究発表会 ◎下伊那教育会ホームページ ◇地理、生物、菱田春草研究の各委員会の研究発表 ☆下伊那教育会 0265-52-0808
- 28日 (土) ●上伊那教育会郷土研究部研究発表会** ◎上伊那教育会館・伊那市創造館 ◇上伊那教育会郷土研究部専門委員会 自然の部 (6委員会)、人文の部 (6委員会) 計12委員会による研究発表会 ☆上伊那教育会 0265-72-3416、上伊那郷土研究室 070-1507-0774
- 28日 (土) ※会員のみ参集**
●全郡教科等まとめの会 ◎郡市内17小中学校 ◇下伊那教育会17委員会が、1年間の研究の成果を発表した後、会員による意見交換。オンラインによる講演 山浦貞一 (信州大学特任教授) ☆下伊那教育会 0265-52-0808

●名称 ◎会場 ◇演題・講師等 (講師名敬称略) ☆連絡先



ソウルでの幸せな日々



ソウル日本人学校 小林 実季

日本から一番近いけれど、あまりにも近すぎて私はソウル日本人学校に派遣されるまで、韓国に来たことがありませんでした。派遣されてから約2年半ソウルに住み、近いけれど、遠い存在だった韓国が今はとても身近で大好きな国になりました。キムチチゲ、ビビンバ、サムギョブサル、チヂミ、サムゲタン、トッポギ・・・日本人にも馴染みのある韓国料理もたくさん堪能することができました。食文化も似ているため、少し辛いくらいで、日本人の舌にも合う料理ばかりです。また、市場に行けば旬の野菜や果物が並び、楽しく買い物ができます。

さらに、山に囲まれた長野県の小さな町で生まれ育った私には、大都会・ソウルでの生活もまた新鮮でした。英語や日本語を話せる人も多く、電車やバスなどの交通機関も発達しており、生活に困ることもほとんどありません。特にすごいのは携帯1つ持っていれば何でもできるということです。誰が来ても安心して過ごせる魅力的な町です。

そんなソウルに派遣が決まり、「いざ行かん!」と思った矢先、コロナ感染症が流行し、渡韓できるかどうか分からない状態が続きました。日本からオンライン授業が始まり、幸い渡韓できたと思っても2週間の隔離、その後も分散登校や、急なオンライン授業への対応、カリキュラムの変更をしているうちに1年が終わってしまいました。何もできないけれども、新しくできることを模索しながらやっていくという手探りの1年でした。それでも日本人学校の先生たちは自分たちにできることを精一杯行い、オンライン授業と登校を繰り返し、今年度はようやく1年間オンライン授業なしに通常通り登校できました。当たり前が当たり前でなくなった3年間でしたが、皆で協力し、工夫しながら過ごす学校生活は私にとっては貴重で楽しいものでした。

さて、ソウル日本人学校は今年で50周年を迎えました。10月には50周年式典を開催し、今までの歴史を振り返り、また私たちもその歴史の一部だと感じることができました。幼稚部、小学部、中学部全員が集まって何かをするのも3年ぶりで、2020年に派遣された私たちにとっては初めての光景で感動しました。

コロナ禍の時期に日本人学校に派遣され、常に「自分にできることは何か」を問いながら過ごした3年間でした。コロナだけではなく、何が起こるかは分からないこの世の中ですが、どう過ごすかは本当に自分次第です。私自身はコロナ禍だったけれども、楽しいこともたくさんあり、幸せな時間を過ごせました。皆さんにとってはどんな3年間でしたでしょうか。日本人学校での「奇跡の出会い」に感謝しながらこれからも人とのつながりを大切にしていきたいと思います。



定番の焼肉サムギョブサル



韓国の食卓にはバンチャンというおかずがたくさん並びます。



50周年式典



書院などの世界遺産もたくさんあります。

講習・講座参加者の声

生涯学習講座「哲学の道」 よりよく生きるために

10月15日（土） 信濃教育会生涯学習センター講堂

受講者数 会場37名／オンライン12名

「哲学へのいざないー実在と経験」 藤田正勝先生（京都大学名誉教授）



○「今の信濃教育には哲学が必要なんだ」昨年異動された先生がお話しになっていた言葉が心に残り、本日の講座を受講した。特に実在についてのお話が心に残る。私たちの心で受け取ってはじめて実在が成り立つ。教育現場でいえば、それは子どもたちの肌で経験させるということではないか。だからこそ子どもの経験を得る機会と触れられる教師でありたいなと感じた。日程の都合上オンラインがありがたかった。来年度も希望したい。

○実在ー「もの」と「こと」の共生、この経験こそが人生で最も大切であり、人間性の質を高め合い、ひいては社会の構成員としてもとても大切であると考えさせられた。今まで考えたこともなく、人間である以上与えられた先天的なものと思っていたが、そうではない。いかに育つ環境、学び、生き方が大切であるかを学んだ。円山応挙の氷図屏風絵の作品から、形なきものの形、声なき声を聞く、この学びこそ自己の生き方、そして社会のあり方の基本と学ぶことができた。



これからの季節・・・雪害等にも見舞金が支給されます

災害見舞金事業について知っておきましょう！

死亡・高度障害・後遺障害・災害（けが）通院、入院・自然災害による不動産の損害に対する見舞金制度があります

会員同士の「相互扶助」の精神によって続いている事業で、信濃教育会会員であれば、どなたでも受けられます。

例えば、これから厳寒、大雪の季節を迎え、思わぬ事故や災害に遭遇することがあります。過去5年間だけでも、9件の大雪による災害（屋根、庇、雨樋、テラス、バルコニー、車庫、カーポート等の不動産に対する損害※経年劣化は対象外）に、2,050,543円の見舞金支給がなされ、不慮の事態に陥られた会員やそのご家族のためにお役立ていただきました。

信濃教育会ならではのこの事業について理解を深め、広めていただければと思います。

請求には「災害見舞金交付申請書類」の提出が必要です。

申請内容に合わせた書類をお送りしますので、信濃教育会へお電話ください。

信濃教育会に災害見舞金制度があるから、電話するといいわよ！



大雪で家が壊れちゃった…。

信濃教育会総務・会計部

〒380-0846 長野市旭町 1098

TEL 026-232-2470 FAX 026-232-1892

信濃教育会会員の皆様

公益社団法人 信濃教育会
会 長 武田 育夫

再任用教職員の会費の改正について

師走の候、会員の皆様方におかれましては、ご清祥のことと拝察いたします。

さて、日頃より信濃教育会では、多くの教職員が自主的に集い、主体的に研鑽に努め、共に力を合わせこれからの信州教育を築いていくことを願い、会員募集に取り組んできております。

再任用教職員の方々については、一旦県費職員を退職し新たに任用されるため信濃教育会も退会となり、その後の再任用に伴い本会へ新たに加入していただくことになります。しかし、残念なことに、多くの再任用教職員の方々は退職を機に信濃教育会から距離を置かれるため、本会へ加入される方は再任用教職員全体の1割程度となってしまっているのが現状です。

こうした状況を改善するために、今年度の常任委員会及び総会等で協議を重ねてきました。その結果、以下のように再任用教職員の会費を改正し、多くの再任用教職員の方々が入会し易い状況をつくっていくことも必要ではないかとの意見を多く頂いております。

つきましては、会員の皆様方のお考えも伺いたいと思います。

趣 旨：多くの再任用教職員が信濃教育会に加入し、長年培ってきた教育力や教育への思いを次の世代に伝えていただくために、会費を減額し加入し易い状況をつくる。

改正(案)：月額500円の定額
5月～2月の給与より天引き（年間 5000円）

ご意見のある方は、2月末までに、各郡市の信濃教育会常任委員又は信濃教育会代議員までお伝えください。

第19回 信州“教育の日” 青木大会

YouTubeLive
開催

11月19日（土）に信州“教育の日” 青木大会 YouTubeLive が開催されました。

今大会は、「村の子どもは村で育てる～あおきっ子活動」をテーマに、青木村の保育園、小中学校、行政、地域・家庭が連携して、村の子どもたちの成長を支える取り組みが紹介されました。青木小学校からは、「保小中一貫教育の特色と取り組み」、青木中学校からは「中学生が地域と連携した、義民の里青木村に伝わる義民太鼓への取り組み」が紹介されました。



大会初めてとなる座談会では「通学合宿がくれた宝もの」をテーマに、平成17年から続いている青木村通学合宿を推進した方や、合宿体験者、保護者が集まり、当時を振り返り子どもや村に今も残し続けている宝ものを探しました。

このほか、絵手紙・三行詩授賞式、上田養護学校と丸子修学館高校の学び、青木村の観光など、豊富な内容を視聴者の皆さんにお届けしました。

信濃教育会ホームページ（QRコード）から視聴可能です。ぜひご覧ください。



わたし自慢 ④

梅 干



南木曾中学校 山口 学

私は毎年、梅を漬けている。「梅漬け」ではなく、天日で干して「梅干」を作っている。毎年と言っても、継続して漬けるようになったのは、たかだか、ここ5年くらいだ。それでも、ここ数年は毎年少しずつ量が増え、今年は30キロほどの南高梅を漬けた。

私が、初めて梅干を作ったのは、高校生の時だ。元々料理を作ることが好きであった私は、色々な自分が食べたいものを自作していた。そして梅干も作った。私は梅干が好きで、いわゆる「お茶の時間」（我が家には夕食後から就寝前に緑茶を飲んで



団欒する時間があつた）によく食べていたが、スーパーで売っているそれはどうしても物足りなかった。市販のものは減塩仕

様のものが多く、塩辛いものが好きな私にはイマイチであった。そこで、本格的な梅干を食べたいと思って自作した。

自分で作ってみると、これがけっこう手間がかかって大変だった。まだインターネットが今のようには普及していなかった当時、高校生の私は「きょうの料理」の梅干の特集号を書店で買い求め、梅干づくりの「わが師」とした。そして、そこにある手順通りに、梅を漬けた。できあがった初めての梅干は、毎日のお茶のお供にするのにはもったいなく、大学入試の当日などの大切な日に、自分を励ますために食べたことを記憶している。

ここ数年は、梅干づくりもだいたい板につき、分量や手順を確認せずとも感覚で漬けられるようになった。大きなざるの上に並べられ、梅雨明けの太陽をいっぱいを受けている、我が梅干たちを眺めながら、また一年という時間が経ったことを実感する。10年後、20年後も同じように在りたいと願う。

予告



信濃教育 1月号
テーマ GIGAスクール構想
一人一台端末の効果的な活用を考える

怜さんは「灯がついているモチモチの木を豆太が見た場面」を描きました。事前の教材研究でその場面を描いてみました。絵の具を使って灯を表そうとしましたが、背景の夜空や月明かりに溶け込んでしまっ、いまひとつパツとしない仕上がりでした。それに、たくさんさんの灯の間を埋めて夜空を塗ることの困難さも感じました。何かいい方法は無いかと悩んでいると「そうか！クレパスだ！」とひらめきました。

怜さんはクレパスで小さな丸を描き、ティッシュでくるくるとこすってぽかす、と、「わあ、きれい！」と声を上げました。クレパスの油で背景の絵の具がはじかれ、赤や黄色など色とりどりの灯がモチモチの木にまわりにぼつと浮かび上がっているようでした。豆太が見たモチモチの木の灯もきつとこんなふうに美しかったのではないのでしょうか。

指導者
丸山美加子（延徳小学校）

100年館の絵

令和3年度 永年保存作品
今を生きる子どもの絵



モチモチの木に灯がついている
下田 怜（山ノ内西小3年）

信濃教育博物館所蔵

会 員 ひ ろ ば

コロナ禍の手洗いチェック

本校では毎年健康月間中に「手洗いチェック」を行っている。最初に「いつも通りに手を洗ってね」と言うが、いつもそんなに丁寧に洗って！？というくらい慎重に手を洗い始める生徒たち。そのあと手に専用の液を付けていざ手洗いチェッカーの中へ手を入れる。すると「え～こんなに洗い残しがあるの！？」「しっかり洗ったのに～」「うわ～」と驚きの反応を見せてくれる。中にはもう一度手を洗って再チャレンジする生徒もいた。コロナ禍でいつも以上に一生懸命取り組む姿が見られた。手洗いチェックを通して、目に見えない洗い残しに気付いて意識して手洗いしてもらえたら嬉しい。

コロナ禍も3年目。しっかりと対策を行い、この冬も元気に乗り切ってほしい。そして、規制された生活から解放されて、生徒や先生たちとマスクなしで話したり笑ったりできる日が1日でも早く訪れることを願っている。

（戸隠中学校 白澤美穂）



教職員川柳

履きつづす 数の多きに 驚きて
（青クリリン）
ベルに落ち 朝から光る 玉の汗
（あさわぶ かつ代）
M I W A V E 小平奈緒さん 有終の美（きききじん）

ご応募お待ちしております。

投稿はメールでお願いいたします。kaihou@shinkyo.or.jp

「信濃教育会報」カラー版は信濃教育会ホームページの「会員のページ」でご覧いただけます。

